

第 72 回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 「上達のための流儀」

年次テーマ：適正使用の流儀：Going David!

“How to get better at the things you care about” 自分が関心を持つことについてどのようにして「上達」するか、という事です。我々は皆、国家資格を有するプロです。プロにはパフォーマンスを上達させてゆくことが望まれます。

我々の活動・行動には二つがあると言われていています。一つは、 **performance zone** です。午前 8 時半の始業から、17 時 15 分の終業まで、自分の実力をいかんなく発揮するための zone です。既に修得している知識や技術を目前の患者さんの診療や、データ整理や解析等の庶務に反映させることです。エラーは起こさないように、最大限の注意を払うことも必要です。

しかし、この **zone** で勤務時間を超過しながらいかに忙しく働いたとしても、自分のパフォーマンスは上達しません。

	Performance zone	Learning zone
活動の目的	実務を果たす	上達・レベルアップ
ゴール	実力の発揮	設定された学習目標
集中すべき事	既に習得している技術	まだ修得していないこと
エラー	起こさないように留意	起こしても良い（誤り方を知る）

(TED: How to get better at the things you care about から引用)

上達するためには、もう一つの zone である **learning zone** に自分を晒す時間を持つことが必要です。設定された学習目標を見据え、まだ修得していないことに意識を集中させることが必要と言われていています。

第 72 回の抗菌薬適正使用生涯教育セミナーが、皆様方にとっての **learning zone** となりますことを願っております。

令和 6 年 10 月 17 日

公益社団法人日本化学療法学会
抗菌薬化学療法認定医認定制度審議委員会
委員長 青木 洋介